



神谷 直子 議員

図書館について

問 現在の蔵書数、蔵書構成、貸出数は。

答 令和元年度末で約20万7千冊。一般図書63%、絵本児童書36%。貸出は約19万2千冊。団体向け16%、一般向けの蔵書数に対する貸出の割合は約60%だが、絵

本等は蔵書数に対する貸出が150%である。

問 愛知県図書館や市外の図書館から本の取り寄せができる等他市図書館との連携と利用は。

答 碧南市の図書館を利用する高浜市民は碧南図書館利用者の16%。他はわずかである。

問 図書館の成果は蔵書や貸出数でないと考える。高浜市として図書館運営の課題は何か。

答 市民の暮らしや生き方をサポートしていくことができる観点が大切。機能移転も考慮して検討していきたい。

問 どのような検討が行われてきたか。

答 固定概念は捨て、本を借りる場だけでなく、人とつながる、文化を培う場であってほしい等

の意見。また、アドバイザーに「本の貸出のない図書館」の札幌市中央図書館の浅野隆夫氏から現代は様々な本や情報が入手できる。図書館は、市民の暮らしや活動を支えるのが大切。情報に触れ、感性を磨く「場」を重視。セレクトショップのような役割であるのがよいとのアドバイスをいただいている。

問 機能移転先候補の効果については。

答 いきいき広場は、図書館とは縁がない方が気軽に本や情報に触れられる。中高生が学習する場で、学びに対する好奇心や関心を高め、進路選択等のサポート効果がある。かわら美術館は、図書館が提供する本や情報を通して、知識を深め、創造性や感性を磨く場になる。前にある森前公園や館内は、くつろぎの場となる。

問 機能移転後の収蔵場所について。

答 現在の図書館で収蔵する方向で進める。

問 電子図書館を導入する予定は。

答 これからの図書館運営の一つ、現在、活用可能性について研究を進めている。

問 今後のスケジュール、方向性について。

答 令和3年度中。機能移転に際しては、改修等の作業も必要になる可能性もある。



倉田 利奈 議員

中学校における部活動のあり方について

問 フレンド公園を利用した方から「公園を部活動で使うため、場所を退くように言われた。」という話を聞いた。部活動の現状は。

答 土曜日8時から10時、高浜南中学校陸上部が公園

を利用。公園の使用許可および届出はしておらず、顧問の先生も不在で指導者は外部指導者登録（教員以外が指導する場合の手続き）もしていなかった。

文科省より、部活動改革の方針において、令和5年度から休日の部活動を、段階的に地域移行していくことが示された。よって、高浜南中学校陸上部は、週末の活動を地域クラブへ移行していくことを考えている。

問 生徒のために一生懸命指導して下さる外部指導者の方がおみえになる一方、顧問を無視した指導をおこなう方がいると聞いている。また、ハラスメントに関することや、個人情報の

取り扱いについて等研修が必要と考える。そうした研修をおこなっている自治体もあるが、高浜市の現状と今後については。

答 年度当初の任用時に部活動指導者派遣実施要項で遵守事項を示し、外部指導者に承諾書を記入していただいているが、遵守事項についても、内容を見直す必要性を感じている。また、研修による啓発等の実施も検討していく。

公共施設について

問 令和2年度の公共施設推進プランでは、かわら美術館は、令和2年度と3年度に民間譲渡・機能移転となっていた。令和3年度の公共施設推進プランでは、今後、大規模改修と中規模改修が予定され、更新費が合計30億円となっている。中央公民館は、改修費10億円が捻出できない理由で取り壊されたが、今ごろになって美術館の改修費30億円は市民にどう説明するのか。

答 公共施設推進プランについては、毎年3月定例会後ホームページで公表している。どれくらいの費用がかかるのか、載せてみたということで、試算の概算である。試算の概算について説明する予定はない。